

定期テストを真面目に臨むことが大事です。なぜならば、中高一貫という6年間ほとんど友人に変化がない環境において、周りのイメージ、特に定期テストの順位によるイメージは個人の進路だけでなく、学校生活において大きな影響をもたらします。僕の場合ですと、中学1年生最初の定期テストで総合30位以内に入ったことが分岐点になりました。最初のテストの上位者は、高校3年時でも上位者として勉強を続けている印象です。定期テストは順位が出るため、それによるモチベーションの維持が中学生時の勉強を促すものにも、退けるものにもなります。校外模試もちろん大事ですが、毎回の定期テストをきちんとこなすことも大事です。

部活動が6年間で僕が一番力を入れたことです。中学高校サッカー部においてキャプテンを務め、サッカーの難しさ・楽しさだけでなく、多くの人をまとめ、組織するうえで必要な力を学ぶことができました。また、サッカー部の友人は高校生になってもずっと仲が良いので、部活動における友人関係も大事にして良かったです。文武両道というのは簡単なことではありません。しかし、どちらも経験しないと得られない感覚や考え方が存在するのも、事実かと思います。今、部活動の入部を考えていなかったり、入部に不安がある方もいらっしゃると思いますが、茨中は新しく部活動の競技を始める人も少なくないので、新たな一歩を踏み出しやすいです。

茨中・茨高は部活動がやりやすいと思います。私は中学1年生からサッカー部に入部しました。サッカー部は週6の活動で、もちろん大変ですが、みんなで部活動をするのは楽しいですし、部活動内で切磋琢磨できる環境があり、有意義な活動ができます。勉強面が不安に感じるかと思いますが、全部活動は、定期テストの1週間前から活動がなくなるため、テスト勉強に集中でき、部活動のせいで勉強できなくなることは無いです。また、茨中・茨高は中高一貫なので、中学時代から質の高い高校生と活動することも多くあり、技術の上達も望めます。中学の部活動が終わった後すぐに高校の部活動に参加することができるので、部活動も頑張りたいという人にとっていい環境かと思います。

私は公認会計士になるために経営学部を目指したので、大学では公認会計士試験を合格するため、勉学に励みたいと思います。また、小学1年生から続けているサッカーを大学でも続けたいので、サッカー部に入部し、技術の向上を求めるとともに、関西圏での人脈を広げていけたらと思います。